

よえもん

-Yoemon-

こんにちは！
 寒い日が多くなりましたね。
 コタツは、もう出しましたか？

2013年11月 第7号

シリーズ
よえもん

よえもんさんの暮らした大洲

よえもんさん13歳の冬、
 飛が地・風早郡から
 大洲の城下町へと戻り
 ことになりました。



この地で、よえもんさんは勉学に
 励み、やがてはおじいさんの後を継ぎ、お城で
 仕えるようになるのですが、大洲とはいったい
 どのような土地なのでしょう？
 現在の大洲市は、腋川の流域にある大洲城を
 中心とした旧城下町です。

「伊予の小京都」とも呼ばれ、
 今でも古い家並みがのこる町です。
 よえもんさんが住んでいた屋敷は
 「至徳堂」と呼ばれ、現在の
 愛媛県立大洲高等学校内にあり
 ます。また、至徳堂の前庭には
 藤樹書院から根分けした「遺愛の藤」
 を見ることが出来ます。



今月のことば

父母のおんどくは
 天よりもたかく
 海よりもふかし

(翁問答より)

筆 洲田瑞穂さん

この言葉は、藤樹先生が33,34歳のころに
 著された『翁問答』の中にある文言です。

「天よりもたかく 海よりもふかし」恩を、
 誰もが父母から受けています。父と母がいな
 ければ、「わたし」自身が生まれることもできません。

しかし、私たちはたくさん
 返はらさない「恩」をうけて
 育ってきたことをわいっせいに
 忘れてしまっています。
 親や身近な人からもらう「恩」
 を「当たり前」のものとして
 思ってしまうがちです。
 まずは「恩」があるということを知り
 知ること。これが「恩」に報いる第一歩なのです。



記念館さんぽ

今回は、記念館の駐車場南側に植えられた
 「楷の木」について紹介します。

この木は、平成13年3月、岡山県・閑谷学校
 から寄贈された「ゆかりの木」です。

原産地は、中国で、ヒスチアオの仲間の木です。

「楷の木」は孔子亡き後、弟子の子貢(こうこう)に
 植えられた木と言われており、孔子とゆかりの深い木
 です。そのために、学問祈願の木とされています。

楷の木という名前には、直角に枝分かれ
 することや葉がきれいに揃っている
 ことから、「楷書」にならんで
 つけられたとされています。

孔子

紀元前552-479年の
 中国・春秋時代の思想家・哲学者。
 藤樹先生が勉強していた、
 儒学の始祖。「論語」で有名。



近江聖人 中江藤樹記念館

高島市安曇川町上小川69

TEL・FAX (0740)-32-0330

中江藤樹の顔展 開催中!!

